



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733

掲示板法話

武力で国は治められない

念仏申しつつ、慚愧と感謝の生活を



連日、ウクライナの惨状をテレビ報道で見ながら、僅かばかりのウクライナ支援の寄付程度で「平和な」日常を過ごしている私は、「これでいいの」「どうしたらいいの？」等々、苦悶します。そんな中で、私の尊敬するF先生(福井県、真宗出雲路派・了慶寺住職)が「兵戈無用偈」なるお経を連休で帰省した子や孫たちと称えている、との話を聞きました。そんなお経は、どこにあるの?というところ、仏説無量寿経・巻下にある、短いお言葉です。

「仏所遊履 国邑丘聚 靡不蒙化
 天下和順 日月清明 風雨以時
 災癘不起 國豊民安 兵戈無用 崇徳
 興仁 務修禮讓」(註釈版聖典・73頁)

訳すると「仏の歩まれる所には国も町も村も、その教えに導かれぬ所はない。そのため、世の中は平和に治まり、太陽も月も明るく輝き、風もほどよく吹き、雨もよい時に降り、災害や疫癘なども起こらず、国は豊かになり、民衆は平穩に暮らし、武器を取って争

うこともなくなる。人々は徳を尊び、思いやりの心を持ち、あつく礼儀を重んじ、互いに譲り合うのであるという事です。私共のお寺の鐘楼の鐘には「天下和順」以下の言葉が記されてあり、朝夕の鐘の音と共に仏さまのこのような願いが込められているのです。我が国は一応表面的に、平和のようですが、子細に見れば、欲得で争ったり、喧嘩をしたり、憎しみ合ったりすることが絶えません。国と国との間の戦争はもつと大規模で、発達した科学技術や知識が人類社会を破壊しつくすような残酷な攻撃の前に、多くの人々が日常や人生を奪われ、殺戮が繰り返されます。武力でよその国を治めることは到底できないのに愚かなことです。

だが、その争いの元には、人間同士の憎悪やあくなき欲望が渦巻いているのです。些細ないさかいが人間関係を壊し、大事に至ることになりかねません。だから、私たちは「兵戈無用偈」を拝読しつつ、仏さまのお心に照らして我が身を振り返り、言葉を慎み、ふるまいを正していくことが大切です。

難しいお経など、とても無理だと思ふならお念仏申しましょう。お念仏は私と阿弥陀仏の共同作業ですから、私の中に阿弥陀さまのお働きが点灯し、仏心が流れ込んでくる。だから、欲と怒りと愚かさの身が丸ごと大慈悲心に導かれた人生に変えられていくのです。共々にお念仏申しつつ、慚愧と感謝の日々を送りましょう。

☆行事ご案内☆

6月の門信徒会例会

6月19日(日) 午前8時半



三重組 仏婦総会&追弔会

5月30日(月)午後1時半 講師大竹章和師



三重組 仏教講習会

6月14日(火)午後 福泉寺
15日(水) 午前常延寺、午後法柳寺



第3回トライアングル歌声広場

6月30日(木)午後1時 誰でも参加OK 無料

マンドリン・ギター・歌の3人をお迎えして大型画面で懐メロを皆さんと共に歌います



一線会テレホン法話電話059・354・1454

5時の鐘撞き 年中無休誰でも撞けますご褒美ガム

善正寺HP「三重善正寺」で検索1年分寺報閲覧

毎日更新ブログ「住職と坊守のつれづれ日記」大好評

開設14年10か月で37万7千訪問お悩み相談歓迎

新納骨堂後継者の無い方、お墓でお困りの方相談を

法事場所法事場所でお困りの方、本堂使用可相談を



☆ 写真アラカルト ☆



坊守スケッチ

面白い仏教語の変遷



私達の生活の中には仏教に原点がある言葉が多い。玄侑宗久著『さすらいの仏教語』を参考に2, 3紹介してみよう。例えば「言語道断」と「自業自得」の四字熟語も仏教語に由来する。「言語道断」は「もつてのほか」と訳されるが、本来は言語で言うことが難しい不可思議な仏法を表す。更に言えば言葉で言えない程魅力的だという意味。しかし現在は「もつてのほかだ」と怒っている時に使われる。

一方「自業自得」は、長年に蓄積された経験や知識によって培われたある種の方向付けで、必ずしも悪い場合に使われるのではない。大学に合格するのも、良縁に恵まれるのも自業自得。しかし現在では悪い結果が起こった時にしか使わない。過去の罪業の結果で、いわば納得する為の言葉として使われる。所詮他人の所為にするよりはマシな生活態度だと思ふ。

これからはよいことが起きたら「おかげさま」と感謝し、嫌なことが起きたら「自業自得」だと、自分を見つめるのは、実に仏教的な態度である。

悲しい時や腹が立つ時に「言語道断」だと他人も責めても、何の変化も起らない。自分を見つめることでしか、我が人生の本質的な変化は生まれな

いことも心に刻んでおこう。
とここで私が以前から不思議に思

っていたことがある。「老婆心」という言葉はよく使うが、「老翁心」という言葉は聞かない。お節介な人間は老女だけなのか？確かに爺さんよりも婆さんの方が、口は達者で長生きをする。出典を調べると、抑々禅を心得た老婆が、先回りして指導者のように手取り足取り親切に指導することから生まれた。その為修行僧の気づきの邪魔になり、「余計なお節介」という意味になったそうだ。

私も孫達から「バアチャン、自分達できちんとできるから、余計な心配しないでね」と言われないうちに、老婆心を慎みたいと思ふ。

俳壇

回転寿司お椀大きな浅利汁 釋妙水
田貫湖や富士まで飲んで春の宿 釋樂邦
事故渋滞田んぼ道は五月晴れ
春天に黄色い声も部活の子 釋樂邦
新緑に白無垢孫の幸祈る
たたら踏みカラスの着地初夏の風
君子蘭寺院の前に飾りけり 釋住安
金盞花供花に一輪灯がともる
おじぎ草そつと触れゆく子供かな
花園や白き蝶舞ひ遊びをり 釋清風
夏草や木漏れ日浴びて光りをり
外つ園の旧友とピールのオンライン
公園の桜の丘を子らのそり 釋秀龍
傘二本はるの日差しの窓に干す
春の鳥うみのにおいの駅ホーム

若坊守の育児日記No.90

新年度が始まり一か月が過ぎました。ここ二年間、コロナで制限されてきた学校行事の多くが復活しそうです。しかし感染対策を行いながらです。以前とは様子が異なっていますね。さてわが家の長男は五年生、長女は二年生になりました。長男は前期児童会副会長になったので頑張っています。長女はどんだんおませになりました。私の化粧水を顔に塗っています(笑)。ところで、「公立学校情報化ランキング」で四日市市が全国で小学校部門5位、中学校部門8位だそうです。「インフラ整備率」「教員指導力」で高評価を得たそうです。

確かにタブレット端末は一人に一台、配布されていますが、ずっしりと重く、起動が遅いので子ども達には不評です。算数の授業でスクリーンを使っていたのは良いなと授業参観で感じました。先生方が色々工夫して下さっているのがよくわかります。

親世代の知っている学校生活が新しいものにどんだん変化していきま

す。子ども達の吸収力の速さに驚き、親も一緒に学ぶ姿勢が必要だと思ひました。



謹んでお悔やみ申し上げます

- ★伊藤兼子様(87歳) 4/9・東坂部
 - ★服部智子様(80歳) 4/9・笹川七
 - ★森崎文子様(95歳) 4/15・みゆき
 - ★森崎清満様(65歳) 4/19・小杉一
 - ★服部昭子様(92歳) 4/25・小杉一
- この一か月間5名の方がお浄土へ旅立たれました。合掌

カンパありがとう

若松瑞穂様、他匿名様より感謝
ホットユース

※4月16日三全仏婦主催の第30回『初参式』には5名の乳児(男1名女4名)が遠方より親子揃って受式。明るい声が本堂に響きました。

※5月30日午後三重組仏婦総会&追弔会開催、受付はテント用意。
※令和4年度門信徒会会長に服部則男氏、会計に服部絵理様が選出。よろしくお願ひします。

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」342号をお届けします。◇春四月、次々と五人もの方々のお葬儀をお勤め。その中で六〇代現役の男性は二日前に父上の法要をお勤めしたばかりだったので、生死無常の理が身に沁みました。先立つ人は善知識とわが身に引き当てて受け止めた。◇ロシアのウクライナ侵攻はまだまだ続々らしい。この蛮行をロシア正教会が支持しているとは信じがたい。宗教の裏切りは一層罪深い。コロナ禍を経て寺離れの感、自戒したい。合掌。

若葉の中をぞよ風が吹き渡り瞬く間に梅雨を迎えます。三年目のコロナもいつになったら終息するのか？マスクなしでお手参りができるのはいつになることか？、またロシア対ウクライナ情勢もどんな結末を迎えるのか？、原爆を使っ
て人類破滅の方向か、強者が覇権を握るのか、一寸先は闇の時代を迎えました。ところで今月号坊守ステッキ「面白仏教語」の続きです。玄侑宗久氏によると「石油の利権を争って戦争まで起こる世の中だが昔から照明用の菜種油も塩と共に貴重品だった。イン
ドの恐い王様は、家臣に油の入った鉢を持たせ、運ぶ途中に一滴でもこぼすと別の家臣に斬殺させた。
ここから「油断大敵」という言葉が生まれましたと書いていま
す。お寺の常夜燈の油が切れることも「油断」でした。
ご本尊には、香花燈の三具足でお供えますが、
香や燈火は高価だった為、寄道が必要でした。当時
菜種油は貴重品で、常時燃やすのは贅沢。一貧
者の「一燈」という言葉もここから生まれました。燈明を
絶やさなれたために集中力を保つのは仏道修行の
眼目です。日本も戦後平和で豊かな時代が続き
ました。が、いつ何時自然災害や戦争に巻き込まれる
かもしれない。私自身も「いつまでも若いと思てウカ
ウカと過ごすな。これこそ油断大敵の人生じゃ」と仏
縁から催促されているように感じました。今年度は善
正寺で三重組の行事が続きます。お参り下さいませ。
令和四年六月 合掌 善正寺坊守拝